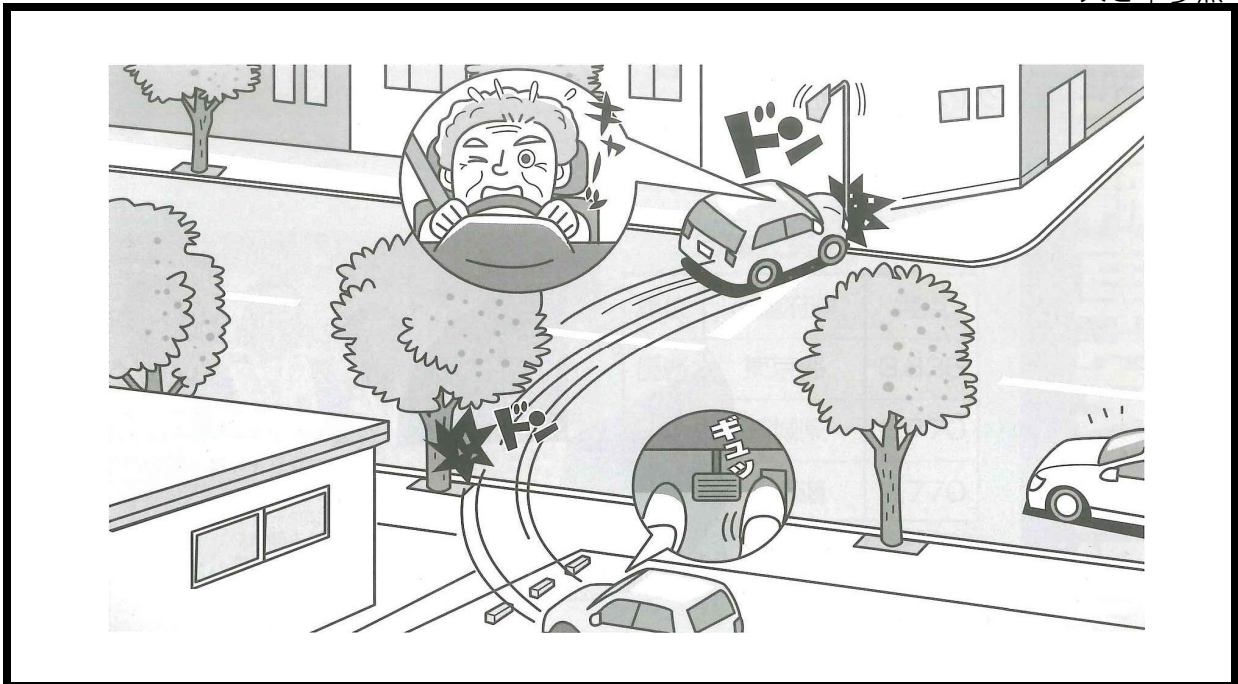


■事故の概況

人と車参照



事故類型：車両単独

発生日時：午前11時過ぎ

当事者A：普通乗用車 70歳代 女性

■ 事故の概要

Aは、買い物帰りに食事をしようとレストランの駐車場に入った。ほかに駐車している車もなく、駐車するのに特に障害となるものもなかったので道路から入ってすぐ手前側のスペースに止めようとゆっくり進行し駐車位置で停止しようとしたが、運転していた軽乗用車（オートマチック車）のブレーキペダルとアクセルペダルを踏み間違い、車を暴走させてしまい、駐車場の車止めを乗り越えて歩道の街路樹に接触、更に道路を横切って反対側歩道上に設置されていた標識柱に衝突させてしまった。

■ 事故から学ぶ

この種の事故では、運転に不慣れでもなく、何かに気を取られていたわけでもなく、停車直前になって単にアクセルペダルとブレーキペダルを踏み込んだ過失が事故の要因です。直後に止めようとするあまり余計にペダルを強く踏み込むため、暴走を加速させるというオートマチック車特有の恐ろしさがあります。近年の車両安全対策は、事故被害を最小限にとどめるパッシブセーフティー（受動安全）技術から事故自体を起こさないようにするアクティブセーフティー（予防安全）技術へシフトしています。どんなに安全対策が進歩しても運転者の身体機能は年齢とともに低下します。特に運転に必要な視力・聴力・反応時間や動作などの機能が高齢者になるほど低下することは避けようがありません。高齢者ドライバーの方は、意識して低下する身体機能を補った安全運転に心掛けることが大切ではないでしょうか。